



Title	「阪大生のためのアカデミック・ライティング入門」 ライティング指導教員マニュアル (2014)
Author(s)	堀, 一成; 坂尻, 彰宏
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/27594
rights	
Note	こちらは旧版です。最新版（第3版）は次のURLから取得できます。 http://hdl.handle.net/11094/54513

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

導入

- 1 今日の授業の流れ
- 2 冊子『阪大生のためのアカデミック・ライティング入門』について

(c) 2014 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

1

①アカデミック・ライティングとは

- 1 アカデミック・ライティングの特徴
- 2 なぜアカデミック・ライティングが必要か
- 3 作文・感想文との違いに注意

(c) 2014 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

2

②学びの成果に誇りを持とう

- 1 勿賞糟粕
- 2 情報倫理・著作権の考え方
- 3 剥窃に対するペナルティ
(コピペレポート検出のしくみ)

(c) 2014 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

3

③アカデミック・ライティングの手順

- 1 自分なりの「問い合わせ」や「答え」を設定する
- 2 証拠を得るために調査・分析する
- 3 得られた情報を整理し構成を練る
- 4 論理的でわかりやすい文章で書く
- 5 内容や形式を点検し整える

(c) 2014 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

4

④ピアワーク1 あたまのなかを整理する

- 1)シートのワーク①の枠の中央の円内にキーワードを書く。
- 2)キーワードから連想する言葉を周りに書く。
- 3)あとで仲間になる言葉を色マーカやしるしてグループにする。
- 4)隣りの人とシートを交換し、言葉やグループの種類について意見を交換する。

(c) 2014 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

5

⑤文献・資料を調査しよう

- 1 ネットの情報に注意！:信頼度・時点
- 2 一次資料と二次資料
- 3 文献・資料の読み込み
:目次・索引・用語説明・トピックセンテンス・書評

(c) 2014 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

6

⑥主な論証の方法

- 1 「演繹」か「帰納」で説明を書く
- 2 やってはいけない記述

(c) 2014 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

7

⑦パラグラフライティングとは

- ◎一つのパラグラフは、一つの事だけを説明する
- ◎トピックセンテンスがある
- ◎「見出し」がつけられる
- ◎トピックセンテンスと無関係な文は含まれない

(c) 2014 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

8

⑧ピアワーク2 パラグラフライティングをしてみよう

- 1) ワーク1で書き出した言葉を参考に、中央の円内のキーワードについて、パラグラフライティングをしてみる。
- 2) 隣りの人とシートを交換し、トピックセンテンスはあるか、関係のない文が混ざっていないか、見出しを付けるとすると何が適当かチェックしてもらう。

(c) 2014 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

9

⑨適切に引用しよう

- 1 短い引用: 短い文章を文中で引用する場合の引用
 - 2 ブロック引用: 長い文章をまとめて引用
 - 3 要約引用: 引用の内容を自分の責任でまとめて書く
- 注意1: 引用する文章の内容を勝手に変えない
注意2: 必ず出典を明記する(ページ、URL、確認日時)

(c) 2014 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

10

⑩形式を整えて提出しよう

- 1 外観の設定
- 2 見出しの設定
- 3 図や表・キャプションを設定
- 4 文献一覧
- 5 提出前のチェック

(c) 2014 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

11

おわりに

- ◎大学の文章へ
- ◎いきなり書かない！手順を踏む！
- ◎パラグラフ・ライティング
- ◎形式は大事
- ◎人に助けてもらおう！=人を助けよう！

(c) 2014 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

12